

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	社会医療法人愛生会
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市北区上飯田通2丁目37番地
工場等の名称	社会医療法人愛生会 総合上飯田第一病院
工場等の所在地	名古屋市北区上飯田北町2丁目70番地
業 種	医療、福祉
業務部門における 建築物の主たる用途	病院・医療関連施設
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	外来棟、入院棟（236床）を有する総合病院
計画期間	令和3年4月1日 ～ 令和6年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公 表 期 間	令和5年7月25日 ～ 令和5年10月23日		
公 表 方 法		掲 示 閲 覧	（場 所）
	○	ホ ー ム ペ ー ジ	（HPアドレス） http://www.kamiiida-hp.jp
		冊 子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	TEL:052-991-3111 担当：施設管理課 長谷川 祐太		

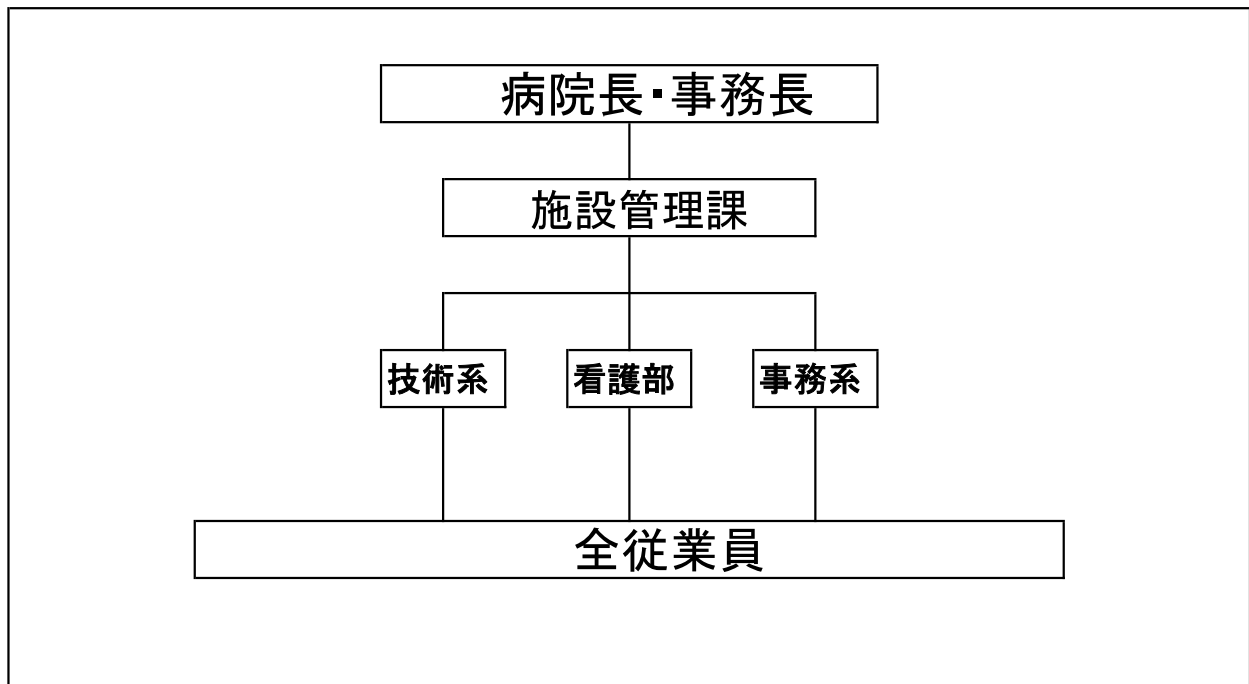
3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

南館（入院棟）の設備を省エネルギー型へ転換を推進し、北館（外来棟）建替に伴い、最新の省エネルギー型設備導入を図る。エネルギーを効率的に利用できるように対策を展開し、環境保全に取り組む。

1. 廃棄物の発生量抑制、リサイクル化の推進
廃棄物を細かく分別し、資源リサイクル化に努める
2. 環境に配慮した自動車の利用の推進
公共交通機関利用での通勤を促進、協力に努める
3. 省資源・省エネルギー活動の推進
クールビズ・ウォームビズを採用し空調の温度設定を見直す
省エネ型の照明器具・機械への転換に取り組む

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 4 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,399	t-CO ₂
（温室効果ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		2,399	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 2 年度		令和 5 年度		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度			
温室効果ガス総排出量	2,509	t-CO ₂	2,434	t-CO ₂	2,471	t-CO ₂	2,399	t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）			3.0	%	1.5	%	4.4	%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 2 年度		令和 5 年度		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度			
原単位あたりの排出量										
削減率（対基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりのみなし排出量										
削減率（対基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

空調機器（マルチエアコン、ガス吸収式冷温水発生機、エアーハンドリングユニット、パコティンヒーター、コージェネレーションシステム）の更新、入院病棟のLED化の更新
--

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動実践 (冷暖房)	(A) クールビズ ウォームビズ推進、設定温度の見直し(冷房：28℃ 暖房：20℃目安) (B) 中央の空調機タイマー制御の見直し(深夜時間帯停止) (C) 定期的にフィルタを清掃し能力低下を防ぐ	・空調機の無駄な運転、利用を避ける。	機器の更新。 空調温度や空調使用時間を、施設管理課を中心として管理するようにしている。
省エネルギー・省資源の行動実践 (照明)	(A) センサー付き照明器具の採用拡大 (B) 省エネ型の照明器具の採用拡大 (C) 不必要な照明の消灯を徹底する (D) スマートメーター取付による電気使用量の把握	・職員の1人1人の節電意識の向上。	入院病棟のLED化の更新が順調に進んでいる。
廃棄物の排出抑制	(A) 細かく分別し、資源リサイクルに努める (B) 院内で使用する資料については、積極的に裏紙を利用する (C) グリーン製品を積極的に購入する	・環境に優しい病院作りを目指す。	用紙やリサイクル品の利用、職員の使用する印刷物は白黒印刷の徹底を行っている。
自動車等輸送機関に関する対策	(A) アイドリングストップ・エコドライブを徹底 (急発進・空ふかし等しない) (B) 職員はEVの使用を控え、階段を利用する	・地球環境の保全を意識した職員1人1人の行動徹底	引き続き、アイドリングストップ等の掲示を行い、意識向上を図る。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 4 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 4 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

病院内照明のLED化の更新が順調に進んでいる。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

電気、空調等の切り忘れに注意していただくようにアナウンスする。
